

エヴリデイ、グラッツェ！

佐賀美裕

9月8日（月）

今日からのサマースクールはただレクチャーを受けるだけでなく、各グループでのワークショップがはじまりました。各グループにアドバイザーとなる人が2人いて、その人たちからいろいろ教えてもらいながら、スタートしました。

まずは、初日のように街をあるきリスクを探しにいきました。助っ人の地元の高校生に街のことを聞きながら進めていったのですが、その高校生がものすごくしっかりしていて街のことを詳しく教えてくれたり、どのようにしていくか改善点をあげてくれたりで、本当に私よりもいろいろな案をだしてくれていて。イタリアの学生たちの意識の高さやレベルの高さは、小さいころから身につけているように感じました。

そこからどのようにプレゼンを進めていくのかを準備していったのですが、自分でもいまち理解できずに進めていくと、どうやら私たち日本人2人が発表するようになっていました！！！！それを知ったのが終わりのほうで。。こんなにたくさんのレベルの高い人達の前で、私たちができるのか。。そんな不安と焦りでいっぱいでした。

その上、プレゼンの準備もしなくてはいけない。もう頭はパニック。私が全然理解できず、アドバイザーとなる2人に何回も何回も聞いてしまい申し訳なさでいっぱい。それでも2人はわかるまで、何回も何回も説明してくれました。2人には申し訳なさで感謝でいっぱいです。

とりあえずは準備ができたけれど、発表のことを考えると本当にこんなのでいいのかと不安でいっぱい。私はこれまで、たった1日でワークがはじまり、問題点改善点を考え発表まで考えるということを今まで経験したことがありません。イタリアの学生たちはこれが当たり前なのかと考えると、さらにレベルの違いを実感。

けれど、そんな中でも私なりに努力して、少しでもいいものにできるように分からないことは分からないではっきりさせ、積極的になんでも聞いて頑張っていきたいです！！！！このサマースクールで少しでも成長した自分になれるように！！！！

9月9日（火）

今日は昨日準備したことを発表。頭の中は朝までもパンク状態でした。（笑）

いざ発表がはじまると、自分が用意していたようにはできず本当に自分のダメさに泣きたくなりました。けれど、パオラ先生（イタリアの教授）がアドバイスをくれたり、イタ

リアの学生たちも「頑張れ」「よかったよ」といってくれたり、改善点も教えてくれ、周りの人の優しさや良いものできるように協力してくれることに、もっと努力しなくてはと思わされました。ここまできたら、本当にいいものを作りたい、自分のできる限りのことをしたいと思い、もっと他の人から良いところを吸収して、活かしていこうと思いました。

他のグループでは、やはりレベルも内容も高く、発表のし仕方もずっと自分たちのものよりもよくて、学ぶことの多いものばかりでした。

先生たちにもいわれたように、研究内容も違い知識の量も違うけれど、日本人の観点で違った見方や比べ方ができるので、もっとそこを自分たちにしかできないことをやっこうと思います。

9月10日～13日

サマースクールも後半にさしかかり、グループワークに追われる毎日でした。しかし、日中は講義を受けたり博物館にいったりと、自分たちのしなければいけないことは出来ません。そのため、どのグループもスクール終了後も遅くまで残りプレゼン準備に追われていました。

いつも元気だったイタリアの学生たちにも疲れが見えはじめてきていました。けれど弱音など絶対にはかない。逆に私に「大丈夫？がんばろう！」と声をかけてくれて、自分たちも大変なのに本当にすごいなと思いました。

プレゼン発表の前日はなんと夜中の3時までほとんどの人たちが残っていました。私も発表の準備やわからないところがあったりしたので最後まで一緒に残っていました。するとハプニング発生。イタリアの学生がやっていたマップ作りが正しく保存されずやり直し。その学生は「1人でやるから帰っていいよ」と言っていたけれど、みんなで協力しあってなんとか終わりました。他のグループでも何かが上手くいかずずっと残っているようでしたが、グループが違っていても「みんなが大丈夫？」と集まって助け合っていました。

一緒にやっいて、みんなが助け合って文句も言わずにやっていることや、逆に楽しそうにも見えるような感じが、とても大変な課題でも普段からこういうことに慣れているのかなと感じる部分が多くありました。みんなの仲のよさや協力しあっている姿に感動しました。

発表当日は、朝から緊張しまくりでした。ずっと自分の発表個所の練習を重ね、自分に与えられた時間8分以内というのもクリアしました。

私たちのグループは5グループ中5番目！！！！最後ということで緊張が増すばかり。どのグループもそれぞれ違った視点からみていておもしろいものばかりでした。

そして私たちの順番。8分で終われるように発表スピードをあげながらも自分の発表を自分なりにしっかり終えられたと思っていました。しかし、私後の発表からスピードアップを要求されていく。自分があまりにも時間をとりすぎたのかと思い申し訳ない気持ちでいっぱいになっていました。発表終了後にリーダーのポンさんに聞くと「前に発表したグループが時間を取りすぎてしまい、全体的に時間が押していたので30分だったはずの発表時間が20分になったから急いでいたんだよ」と言ってくれました。私が原因かと思っていたので一安心。その上ポンさんが、僕が順番決めで最後になってしまったから、ごめんねと。それまで緊張や不安でいっぱいだったために、そんなポンさんの優しさに泣きそうになりました。(笑)

その後移動中に同じグループだった西本さんが泣いているのを見て、私も涙があふれてきました。やっと全部終わったという思いと緊張も不安もなくなったのでポロポロと。(笑)

ポンさんやマルゲリータと歩きながら「とってもよかったよ、パオラ先生が一番いいコメントをくれたよ」などと評価のことを教えてくれました。それを聞くとさらに涙がポロポロ。やってよかったなという思いでいっぱいでした。

グループで何かを完成させることは今まで何回もやってきましたが、今回のようにこんなに大変なのは初めてでした。場所も言葉も仲間も違うので不安でいっぱいでしたが、終わってみると、得られたものでいっぱいだったように感じます。前日は夜中の3時まで、次の日は朝9時からというハードワークは初めての経験でしたが、いろいろとイタリアの学生から学ぶものもたくさんありました。

初日には内心「こんなの1年生が来るもんじゃないよ！」と思っていましたが、自分のなかでいっぱい話そう！わからないことは何でも聞こう！と目標を決め、それも果たせたので、今回このサマースクール、留学に挑戦できたことを今ではよかったと思っています。

9月14日(日)

昨日でサマースクールもほぼ終了で今日が最終日でした。日本から準備していたHUGの発表が今日でしたが、私が担当する部分も少なくもう終わったという気持ちでした。(笑)

イタリアの学生は地元に戻っていった人たちも多く、人数は少なかったけれど、最後は学生が作ったゲームで遊んだり、掃除をしたり、みんなでお菓子をつまみながら立食パー

ティーをしたりと楽しいものばかりでした。

イタリアの学生たちとお別れはとっても寂しかったです。けれど学生たちの通う学部のある ALGHERO にも行く予定なのでみんなに会えることを願ってお別れをしました。

そして私たちは次の MAMOIADA という場所へ。これまでの CAGLIARI や NUORO とは違い田舎です。しかし、ゆったりとした雰囲気これまでのサマースクールでの疲れがとれるような気がします。

ラッキーなことになんとその日は年 2 日ある子供たちのためのお祭りの日！劇団がやっている劇が街を周りながら見られるというもの。本当にラッキーでした！言葉はわかりませんが、それでもすごく楽しめる内容。子どもたちやその両親も参加していてみんな楽しそうでした。

こんな小さな町でもこういうイベントがあると盛り上がるんだなと、高知にもこんなのがあれば楽しいなと感じました。

9月16日（火）

NUORO では手洗いもできず、全く洗濯ができなかったので今日こそは洗濯を！とコインランドリー的なものを探しに。教えてもらったところに行くとなんとそこはクリーニング屋さん。もう叫びたい気分でした。（笑）

近くのタバコ屋さんで聞くと女の子が連れていってくれることに。行ってみるとおじさんが出てきたけれどよくわからず、ついて来いと言われ、行ってみると何やらインテリアがいっぱい。もしかして洗濯機を買いたいと思われているのかもと思い、「ノー コンプラーレ！（買わない！）」と伝えてみると、買いたいんじゃないの？といった感じで返されました。なので、洗濯がしたい！と言ってみると上へと連れていかれ、なんとそこのおじさんが洗濯機を貸してくれることに！！！！申し訳ない思いでいっぱいでしたが、何とか洗濯できました。

その上そのおじさんがとっても優しくお金もいらないと。この 1 日で、この街の人々の優しさを身に染みて実感。日本に、高知に帰ったら絶対にこの恩を誰かに返そうかと思えます！（笑）

9月17日～21日

MAMOIADA で過ごす 1 週間は、だらだらと過ごしてしまいあっという間に過ぎていったと思います。

この街はマスクのお祭りとワインが有名なようで、どこへ行ってもそれらを推しているように感じました。

マスクのミュージアムでは英語の説明を渡してもらい、それぞれ理解して回ることができました。毎日ミュージアムの前には観光バスがとまっていて、観光客にも人気のように感じられました。

普通にみると、怖いように感じるマスクですが、この街の伝統でもあるのでみんなが大切にしているようでした。

本当に小さな街でしたが、みんなが優しく、道行く人に「チャオ！」と声を掛け合い、仲良く話しているのを見ると、本当に家族のような街だなと感じました。また、英語が全く通じず、イタリア語のオンパレード。全く何を言っているのわかりませんでした。(笑) ジェスチャーや指さし会話帳を使ったり、メモに書いたりとなんとか過ごしていました。(笑) 英語を話せる人に出会うと嬉しくなるくらい！言葉が通じない辛さと共に、自分が英語のネイティブになれたような感覚になっていました。(笑)

9月22日(日)

MAMOIADA も最終日。今日は ALGHERO に移動です。まずは MAMOIADA から NUORO にバスで移動でしたが、バスがこない！ バス停も目印がなく本当にここであるのかという場所だったので、バスに乗れるのか心配でしたが、5~10 分後にやっとバスが来たので一安心。そこから 30 分ほどで NUORO に到着。しかし ALGHERO 行きのバス乗り場が分からない！道行く人に聞きまわりましたが、言っていることがそれぞれ違い分からない。なんとか発見することができました。

バスは 15 時発。3 時間ほど時間があつたので、カフェで時間をつぶし、ALGHERO 行きのバスに無事乗ることができました。

ALGHERO にいるイタリアの学生のサルバトーレと連絡を取り合っていると、ミッションだと言われ、空港から市内までバスで来てとのこと。空港につき運転手さんにいろいろ聞きながら市内へと向かうバスに乗ることができました。降りるところも教えてもらっていたので、運転手さんに伝えると、理解してもらえたので、安心して乗ることができました。

バスを降りてサルバトーレに連絡すると、どこ？と聞かれいろいろ目印になるものを伝えてみると、なんとか発見！ やっと英語だけれど言葉が通じる人に会えたのと久しぶりに

会えたので嬉しさいっぱいでした！（笑）

サルバトーレは空港に来てくれていたようで、行き違いになってしまい、申し訳なかったのですが、「気にするな！気にするな！（日本語で）」と喋ってくれて、優しさに感動でした。

その上 ALGHERO で暮らすフラットまで連れて行ってきて、またオーナーさんの言っていることを訳してもらったりと、何から何までお世話になりました。本当にいい人です。

また水曜日に会う約束をして、今日はお別れをしました。

NUORO、MAMOIADA と山間地域だったので久しぶりに見る海とリゾート感に、それぞれ違った心地よさを感じました。

ALGHERO の滞在期間は短いですが、たくさん楽しみたいと思います！

9月23日（火）

今日は ALGHERO 探索ということで歩きました！市の中心とは少し離れているため、結構歩くことに。海岸に沿って歩いていくと、少しずつ賑やかに。

CAGLIARI ほどではないですが都会！という町並みで、観光客もいっぱいでした。街の中にはお土産屋さんやサンゴ屋さんがいっぱい。観光地なんだなと街の雰囲気だけでも感じてきました。

街のお店を見ていると、その街の有名なものや推しているものがなんだかわかるような感じがします。ALGHERO はサンゴや海鮮など港街ならではの感じがします。

また、NUORO や MAMOIADA は山間地域だったために朝晩が冷えこみましたが、ALGHERO ではそれが感じられません！秋になったなと感じていましたが、また夏に戻ってきたようです。海でもまだまだ楽しんでいる姿もみられました。

しかし、日本はもうすっかり秋の気候のようなので、帰ったときの温暖差に今からびくびくしています。